

2020 大阪市東成区サステナブル企業認証

Osaka city Higashinari ward Sustainable Company

good practice

～取組事例集～



続く会社

東成区は、人口約85000人、面積約4.5平方キロメートル区の端から端まで自転車で行ける「コンパクトなまち」です。

また、日本有数の中小製造業の集積地として戦前からの町工場が数多く残る地域でもあります。

「働く人にとっても、住む人にとつてもいいまちにしたい」

「地球温暖化や資源の枯渇、従業員の安全安心な働き方に配慮し、遠い未来も事業活動を続けていきたい」

「モノづくり」のまち東成には、健全な経営を続けながら、

CSR（企業の社会的責任）の推進に意欲のある企業があります。

東成区サステナブル企業認証制度では、

自らの事業活動の維持及び拡大を図りつつ、社会的健全性を両立させた経営を実践して、企業等の社会的責任の推進を図ろうとする取組に意欲のある企業を認証する制度です。

「サステナブルな会社」が増えれば、

地域経済の持続可能な発展、

ひいては地域社会の発展につながります。

東成区のサステナブルな取組を行う企業の皆様の成長を支援し

東成区の発展をめざします

認証を受けるには

大阪市東成区内に事業所を有するまたは、大阪市東成区内で事業活動を行う企業及び団体が対象

詳しくは、東成区ホームページをご覧ください。

東成区 サステナブル

認証を受けるメリット

下記のような支援を受けることができます。

認証書・認証マークの付与
広報支援
資金調達等相談機会の提供
人材確保
必要な情報やノウハウの提供
多文化共生社会の実現に向けた支援
セミナーへの参加

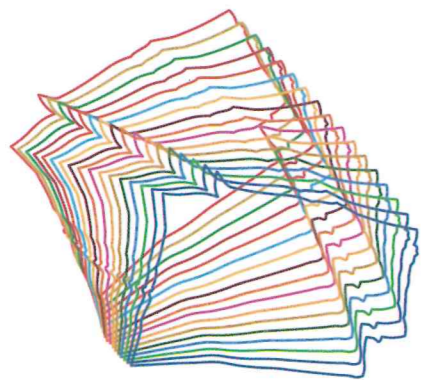
続く

くままち



令和3年1月27日 令和2年度大阪市東成区サステナブル企業認証書 授与式

東成区サステナブル企業認証制度 認証マーク



この認証マークは、「ひがしなりソケット」のメンバー有志が制作しました。東成区のカタチをSDGsの17色をイメージした色味で表現しています。

「ひがしなりソケット」とは？
企業や区民がSDGsやCSR（企業の社会的責任）を実践するプラットフォーム



詳しくはFacebookをご覧ください。
<https://www.facebook.com/higashinari.socket.lab/>



Contents

令和2年度 サステナブル認証企業の取組紹介

- 0 はじめに
- 4 株式会社ダイプラ
- 6 東洋シール株式会社
- 8 久保井インキ株式会社
- 10 株式会社光製作所
- 12 大阪シティ信用金庫 東成支店・深江橋支店
- 14 株式会社ニシト発條製作所
- 16 尼崎信用金庫 今里支店
- 18 旭電機化成株式会社
- 20 社会福祉法人みおつくし福祉会 リアン東さくら

(敬称略・申請順)



各ページのSDGsアイコンについて

認証企業の取組は、SDGs達成に寄与しています。各取組と特に関連の深い目標をアイコンで示しています。

「SDGs (Sustainable Development Goals)」とは？

2030年を期限とする国際社会全体の17の開発目標で、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むものです。

※取組紹介ページについては、各認証企業からお寄せいただいた記事をもとに作成しております。

「新たなこと」を通じて、持続可能な社会を

事業内容

印刷用インキの製造販売などを通じた「今までここに無かったコト」への挑戦により、経済成長を伴う「持続可能な社会」の実現を追い求めています。



DATA



ホームページ

- 所在地：東成区東今里 2-11-23
- 設立：1946年1月
- 従業員数：30名
- 業種：化学工業
- ☎ 06-6973-6211

サステナブルな取組



1 ワクチン接種によるコロナ禍の早期収束を祈念

町工場が、ワクチン休暇をつくった

世界中で猛威を振るうコロナ禍において、当社は早期のワクチン接種による従業員の安心・安全と、地域を通じて集団免疫獲得の一員となることを目指し、社会に先立ち「新型コロナワクチン接種特別休暇制度」及び「ワクチン接種奨励金制度」を創設、導入しました。これらの制度が地域や業界を通じて社会に広がることで、世界がめざすコロナ禍の収束に貢献したいとの思いからでした。

成果 「安心・安全」を拡げたい

従業員の反応は総じて「安心できる」とのことで、「安心して働けて、安全な職場」と認識してもらえたと思います。また、この制度を社会に拡げたいとの思いが、テレビ局や新聞社に届き取材が殺到。その結果、大手企業のみならず、中小企業にもワクチン休暇制度を導入する会社が増加し、当社の取組がワクチン休暇制度の普及を後押ししたと自負しています。



2 日常を取り戻したらこんなことも！



- 1 インキの環境負荷を少しでも低減したい
- 2 通常 UV/LEDUV を兼用する製品開発が急務でした

成果 印刷の省エネ化と高付加価値化に貢献

2003年、大手電機メーカーからグリーンパートナーに認証され、2004年にはISO14001の認証を取得しました。製品に含まれる化学物質の削減を目的に、「使用禁止物質」の管理を開始。また、自社のエネルギー消費削減と同時に、顧客の省エネ化、安心安全のためにラベル印刷用LEDUVインキや高付加価値製品の開発、輸出を強化しました。これらの取組が評価され、2018年、経済産業省から「地域未来牽引企業」に選ばれています。

受動的ではなく、能動的に



当社は様々なサステナブルな取組を実施しており、私たちが重要と考えるのは「分かりやすく、顧客に役立つ」活動です。

当社の事業活動において、廃棄物や電力の削減を行ったところで、顧客へ提供出来るベネフィットは大きなものではありません。私たちがめざすのは、当社製品を採用することが「顧客の環境配慮」、「新たな価値」に直結する製品づくりと事業活動です。



- 3 高付加価値な香り印刷を展示会でPR
- 4 経済産業省から地域未来牽引企業に選定されました

CLOSE UP

“サステナブルな取組”について4つの質問

始めたきっかけは？

2003年に大手電機メーカーからグリーンパートナーになるよう要請を受け、環境への意識が高まりました。その後ISO14001を取得するなどし、取組の幅が拡大しています。

進めるポイントは？

難しい言葉を使わず、「これをやろう」で充分なので、目的と意義、何故自分たちがこれをやるのかを明確にするべきだと思います。



代表取締役社長 久保井 伸輔 氏

苦労したエピソードは？

環境配慮ばかりに意識が向いてしまい、社内ではSDGsとは環境対応という認識も。様々な取組で意識を変える事が大切です。

今後の目標は？

今後も独創的な活動でSDGsを推進し、「日本一小さなSDGs先進企業」として、2025年の大阪・関西万博への参画をめざします！